

特集 ■ リハビリテーションにおける動作解析

障害者の動作を分析することは古くから行われており、計測装置があれば多くのことがわかるのではないかと期待し、大規模な動作解析装置を導入する施設も増えてきている。しかし、実際には計測器がほとんど稼動していなかったり、計測は行うがデータが蓄積されるだけでどうやって臨床に役立てたらよいかわからないという声が多く聞かれる。リハビリテーション分野において、臨床の現場に関わる臨床家は何を考えどのように動作解析を活用したらよいか。今回の特集では、各分野の先生方に、リハビリテーションにおける動作解析について、国内外の動向をふまえ、各分野の取り組み、今後の課題、展望などについてご解説いただいた。

動作解析の現状と課題 (江原義弘氏, 953 頁)

近代的な動作解析の歴史を振り返り、「動作解析」と「動作分析」の違い、動作解析の対象などについて言及している。そして、動作解析・歩行解析で何か明らかにされたかを解説し、今後この分野に関わる人が何をしたらよいかについて、具体的に提言している。

脳血管障害患者の歩行分析 (山本澄子氏, 959 頁)

片麻痺患者の歩行の特徴、非対称性の指標についての解説に加え、歩行速度増加の戦略、歩行パターンの分類についても言及し、今後、この分野において、横断的研究のみならず、縦断的研究がなされることの重要性を説いている。

脊髄損傷患者の装具歩行の解析 (香川高弘氏, 965 頁)

歩行装具を用いた対麻痺患者の歩行の解説に加え、装具歩行の計測・評価方法について詳しく説明している。今後は歩行の効率性だけでなく、自立性の評価も重要であり、計測して得られる 3 次元動作や床反力のデータから歩行の安定性を定量的に評価する手法の確立が課題である。

義足患者 (月城慶一氏, 971 頁)

義足患者は切断部位によって歩行能力と歩様特徴が異なる。本稿では、大腿義足装着者に焦点をあて、大腿切断によって失う機能について解説し、大腿義足の発展の歴史や生活の質 (quality of life ; QOL) などについて解説している。

小児患者 (根本明宜氏, 977 頁)

米国における動作解析と小児領域での進歩を紹介し、わが国における小児分野での動作解析の現状を解説している。小児治療における動作解析の役割についても言及し、今後、動作解析の有無による治療成績の評価なども含め生活の質の向上が望まれると結論づけている。

先進的リハビリテーション医療技術への応用—歩行分析のロボット支援リハビリテーションへの応用— (殷 祥洙氏, 983 頁)

歩行分析装置を使用する目的は、カメラと 3 次元床反力計との組み合わせにより、運動力学的データ、運動学的データを計測することである。本章では、これらの歩行分析装置の機能を利用して、ロボット支援リハビリテーションについて検討している。

書 評

作業療法はおもしろい—あるパイオニア OT のオリジナルな半生 (伊藤利之) … 1055

ニュース

「ノーマライゼーション・障害者の福祉」2012 年 5 月号特集目次… 970 「地域移行したい」18%—障害施設入居者が自主調査… 982 重症障害児家庭の不安、不満浮き彫り—楡の会が札幌、旭川など調査「支援者や対応機関必要」… 991 障害女性に特有の困難、当事者調査で性被害など判明—公的な統計なく施策の不備も… 992 宮城・「重症心身障害児 (者) を守る会」、停電に備え発電機共用—行政支援なし、苦肉の策… 1010 宮城県内の福祉施設職員、半数が「疲れ蓄積」—福祉保育労などが調査… 1010 被災障害者施設を支援、盛岡に 24 日センター—県内 9 地域に支所開設へ… 1045 「重症児者の防災ハンドブック」田中聡一郎・菅井裕行・武山裕一 (編著) —支援ネット構築を提言… 1049

お知らせ

第 24 回 ADL 評価法 FIM 講習会… 958 第 15 回臨床筋電図・電気診断学入門講習会… 1020 第 18 回日本最小侵襲整形外科学会… 1028 第 30 回日本感覚統合学会研究大会… 1037 第 5 回日本身体障害者補助犬学会学術大会… 1050